

県立博物館応援プロジェクト ～共に守る、山形の宝～

2,000 円以上ご寄附いただいた方にお礼状とご芳名を記載した博物館ニュースをお送りします。

あなたの寄附を資料整備・台帳整備事業などに活用します。

●山形の宝である所蔵資料を未来につなぎ、“やまがた愛”を育むために！

山形県立博物館は、昭和 46(1971) 年に開館した、地学、植物、動物、考古、歴史、民俗、教育の 7 分野の総合博物館です。国宝土偶「縄文の女神」や県指定天然記念物ヤマガタダイカイギュウ化石を代表に、山形の宝とも言える多数の資料を所蔵し、長年、山形県を知るスタートラインとしての役割を果たしてまいりました。

一方で、開館から 55 年が経過し、施設・設備の老朽化への対応も課題となっています。

こうした中、新博物館への移転整備の検討が進められており、県立博物館では、新博物館における新たな所蔵資料データベースの構築やデジタルアーカイブ化による多様な資料の活用を見据え、長年整理・登録が行われないうままとなっていた資料等も含め、複数年をかけて、抜本的な資料整理・台帳整備を行っていくこととしています。



▲山形県立博物館



▲子ども向けワークショップの開催



▲博物館講座の開催

●寄附の使い道について

本事業にいただいた寄附金は、資料整理・台帳整備事業に活用させていただくとともに、老朽化が進む現博物館の機能維持を図るため、施設・設備の修繕にも活用させていただきます。



▲未整理・未登録の資料



▲資料整理・登録作業

●お礼状及び「山形県立博物館ニュース」の送付

本事業にご賛同いただき、ご寄附いただきました方には、お礼状とご芳名を記載した山形県立博物館ニュースをお送りいたします。

